

# 特別の教科 道徳 授業づくり講座

第1回「教材研究会」「授業研究会」 高知市立三里小学校

発行 令和3年12月  
高知市教育委員会  
学校教育課

【主題名】思い切って 【善悪の判断・自律・自由と責任】 小学校A (1)

【教材名】「あこがれの人」(小学どうとく 生きる力3 日本文教出版)

【ねらい】自分がやらないといけないとわかっていることから逃げず、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないと判断したことは行わないようにする人としての素地を養う。

## 教材研究会

【教材分析シートを活用した授業づくり】

### ポイント

#### ○ 指導の要点

- ・短文やキーワードでも良い
- ・子供の立場で考えたものが引き出したい
- ・児童生徒の考え

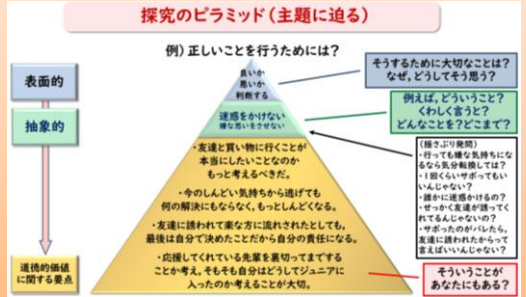
#### ○ 中心発問

- ・教材の「行間」や「副詞」に注目
- ・いわゆるテーマ発問でもよい

#### ○ ねらい

- ・中心的な学習活動を踏まえる
- ・教材に描かれたプラスの側面を考慮

### 【探究のピラミッドで具体的な揺さぶり発問を考える】

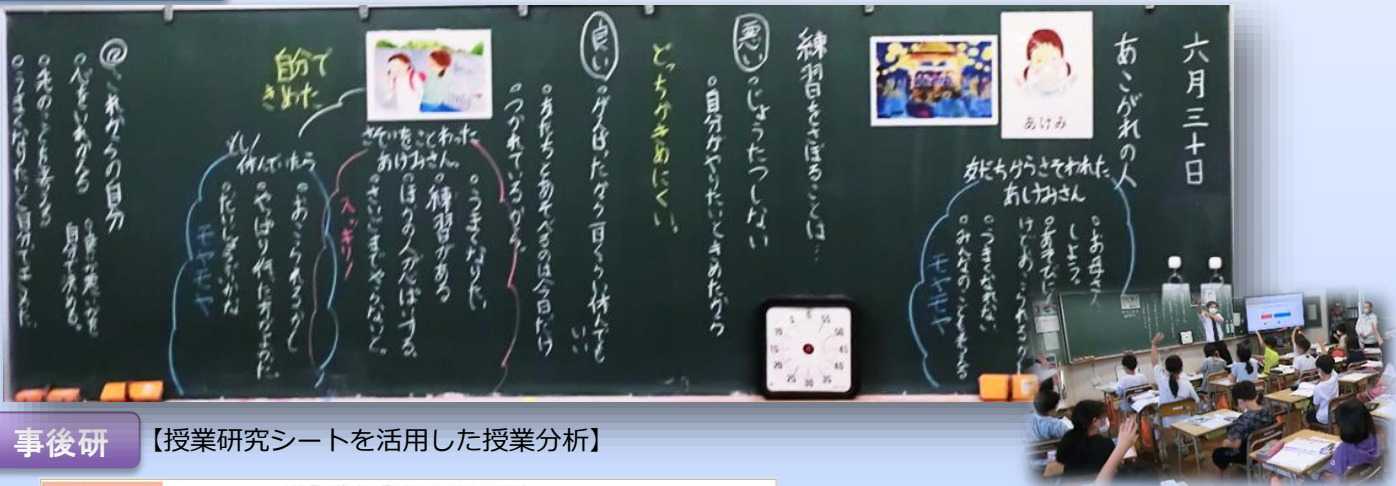


教材分析シート: 高知大学 森 有希 教授

探究の工夫	評価の観点	評価の観点・児童生徒の考え
A: 自分自身の気持ちで考えることの工夫	評価の観点	「道徳的価値観の形成」
B: 多面的・多角的に考えることの工夫	評価の観点	「道徳的価値観の形成」
C: 多面的・多角的に考えることの工夫	評価の観点	「道徳的価値観の形成」
D: 多面的・多角的に考えることの工夫	評価の観点	「道徳的価値観の形成」

## 授業研究会

授業者: 第3学年担任 新井 遼 先生



## 事後研

【授業研究シートを活用した授業分析】

まとめ方のイメージ	授業研究(指導と評価に関する検討)	授業の効果(O)と改善案(※)
自分自身との関わり	児童生徒の様子(発言・記録)	個人で付箋の記入(できるだけ授業参観時) ●1枚1項目、短文で ●児童生徒の具体的な言葉を書く。 ●協議の視点に沿って、「自」「多」「主」の別に書く。
多面的・多角的	多:発問3のとき、「……」という発言があり、友達の発言と比較して自身の考えを述べていた。	○……が効果的 ○……と問い返したことで見方・考え方が広がった。
主題に迫る	主:「……」という発言。	※……と問えば主題に迫れる。

### 参加者の感想

「気付き」「学び」等について (抜粋)

#### 【教材研究会】

- 道徳の授業づくりについて、どのような手順で考え、どう構成していくのか分かった。
- 主題に迫るための工夫として、揺さぶり発問をどのように仕掛けていくのか分かった。
- 子供の思考を整理するため、対比させる等の板書の工夫が分かった。
- 自分のこれまでの道徳の授業を振り返ると、もっと勉強したいと思った。

#### 【授業研究会】

- 多様な意見を出すための「揺さぶり」「問い返し」の大切さを改めて分かった。
- 児童に考えさせたい道徳的価値観へのアプローチ方法を学ぶことができ、その大切さを実感した。
- 同じ観点で事後協議を重ね、教職員同士で学び合うことの良さを感じ、継続していきたいと思った。

